

令和6年度第4回大和村議会定例会
 一般質問通告一覧(12月12日 木曜日 開催)

No.	I	市田 実孝	
質問事項			要旨
1. 無電柱化の必要性			1) 奄美は世界自然遺産に登録されて、景観・防災を含め無電柱化を推進する必要があると思うが村の考えはいかがか。 2) 沖縄振興開発には、無電柱化に事業化する市町村に上乘せする予算措置があるようだが、私たち奄美振興開発にはそのような予算措置はあるのか。 3) 災害時において、より安心安全な交通確保のため緊急輸送車両の道路を無電柱化していく事は検討していけないか。 4) 奄美は樹木の生長が早く電線上に覆い被さり、電線の管理不十分な箇所が見られ、周りの農地に日当たり面で悪影響しており、電線のため立木の伐採が出来ない場所があるが対処していけないか。
2. 高齢者・障害者のゴミ出し支援について			1) 高齢化率が進むなか、ゴミ出しが困難な高齢者・障害者世帯の実態調査などで対象者を把握し、また、その対応はなされているか。 2) 支援事業を実施している自治体では、その団体等に助成金等が支給され活動費助成とされているが、事業を検討していけないか。

No.	2	前田 清和	
質問事項			要旨
1. 学校教育における課題は	1) 村内各学校の教育費の予算は、学校現場の声を教育委員会はどのように吸い上げているのか。 2) 物価高騰の影響を受け、学校給食の内容や質の低下などしていないか。又、状況を把握する体制は出来ているのか。		
2. アミノクロウサギ研究飼育施設クルグルの今後の運営方針・体制について	1) 当初オープン開始については、村が運営を担うとお聞きしましたが、今もそれは変わらないのか。 村が運営するとするなら、年間の運営予算の概算はどれくらい掛かるのか。 人員配置等の体制は出来ているのか。 2) 民間企業委託を早急に進めるべきではないか。		
3. 来年の村長選挙について	1) 来年予定されている、任期満了に伴う村長選挙への進退意向について、村長の今のお考えは。		

令和6年度第4回大和村議会定例会
一般質問通告一覧(12月13日 金曜日 開催)

No.	3	中井 文忠	
質問事項			要旨
1.	ハナハナ温泉リゾートについて	<p>①村が全面的な協力をしているのは何故なのか</p> <p>②温泉入浴料金について</p>	<p>温泉が出たとよろこんでいる人たちもいますが、村民の中に心配の声も聞かれる。私が聞きたいことは、</p> <p>1) 個人事業所に対して全面的な協力をしているのは何故なのか。代表が村出身だからなのか。村は不安はないのか。</p> <p>2) 村民は一律1回500円で入浴できることは、うれしいことではあるが、裏で村が業者に2000円を支払っていること、入浴しない人は、この2000円が不公平と感じている。対策はないのか。</p>
2.	昨年9月議会での行政報告について		<p>村長を含めて4人が森山議員に陳情ということで、東京の方へ出向いています。</p> <p>1) 議長・副議長ならわかるが、監査委員はなんのために同行したのか。</p> <p>2) 今までに議員から複数の方が陳情等に参加したことはあるのか。</p> <p>3) 4人もの方が陳情に行くことは、余程大事な陳情と思うが、内容等はどのような陳情なのかお聞きしたい。</p>

No.	4	勝山 浩平	
質問事項			要旨
1. 棒踊り・ナギナタ踊りやムチモレ踊り、キトバレ踊りなどを村の無形文化財指定へ	<p>1) 本村には、大和浜の棒踊り・ナギナタ踊りや湯湾釜のムチモレ踊り、思勝のキトバレ踊り、そして各集落のノロ神信仰や八月踊りといった、長い歴史と伝統に根差した文化が存在します。しかし、これらは少子高齢化や担い手不足の影響で、存続の危機に瀕しているものもあります。こうした貴重な地域文化を守り伝え、観光資源として活用するためにも、村の無形文化財に指定し、保存や振興に向けた取り組みを進めるべきではないでしょうか。</p>		
2. 軽度・中度の難聴者への補聴器購入助成を	<p>1) 高齢化社会が進む中で、加齢性難聴に悩む方が増加しています。難聴が進むと、コミュニケーションの障害や社会的孤立が深刻化し、うつ病や認知症のリスクを高めると指摘されています。しかし、補聴器は5~70万円と高額で、身体障害者手帳の対象外である軽度・中度の難聴者には、購入が難しい場合が少なくありません。</p> <p>こうした背景から、身体障害者手帳を持たない軽度・中度の難聴者に対して、補聴器購入助成制度を創設してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。</p>		
3. デジタル化によるさらなる読書振興を!	<p>1) 書籍の貸出管理システムの導入について 防災センターや各学校の図書室では、貸出管理がアナログで行われており、業務効率化が求められています。バーコード読み取りによる貸出管理システムを導入することで、業務負担の軽減や利用者サービスの向上を図るべきではないでしょうか。村の現状と見解を伺います。</p> <p>2) 電子書籍の活用について デジタル化が進む現代において、教育現場ではタブレット端末の使用が一般的になっています。本村が購入する書籍の一部に電子書籍を導入し、効率的かつ現代的な読書環境を整備することは重要ではないでしょうか。</p>		

3) 地域資料のデジタルアーカイブ化について

郷土資料や歴史的価値の高い書籍は、後世に残すべき貴重な財産です。これらを電子化し、デジタルアーカイブとして保存することで、多くの人々が利用できる環境を整えるとともに、長期保存が可能になると考えますがいかがでしょうか。

No.	5	重信 安男		
質問事項			要旨	
<p>1. 自然災害に対するこれからの取り組みは</p> <p>2. 防災訓練のあり方について</p>	<p>1) 必ず発生するとされている南海トラフ地震について現在の取り組みと未来の対応策は？</p> <p>2) 各集落の高台避難場所が指定されていますが、食糧品等の備蓄施設やトイレの設置は出来ないか。</p>		<p>1) いつ起こるか分からない災害時、もっと自衛隊を活用すべきでは？</p>	

No.	6	奥田 忠廣		
質問事項			要旨	
1. 令和7年度予算編成について			1)	令和7年度をどのような年度ととらえた予算編成を考えているのか。
2. 旅費規程宿泊費の見直しについて			2)	令和7年度本村の目玉的政策があるのか。
3. 村単独農業事業助成について			3)	令和7年度は、村長選挙の年でもあるが、立候補予定であれば、村民に対し公約できる目玉的な政策があるのではないのか。
4. 農作業機械(トラクター、コンボ)等使用について			1)	国家公務員の宿泊費改定財務省(7年度4月1日)から財務省案が10月31日付新聞紙上にありましたが、現行の東京宿泊費13,100円を19,000円に改定する。本村の旅費規程では東京は県外の甲地方となり1泊12,500円です。宿泊費は国家公務員でも地方公務員でも同額と理解するが、本村の県外甲地方宿泊旅費規程は見直すべきでないか。
			1)	8項目の農業関係助成事業がありますが、農業生産振興であり70歳以上の農家が対象で限度額30,000円です。農作業、薬剤散布、園内草刈り等半額助成ですが、75歳以上の後期高齢者を対象に(庭の草刈り)(庭の生垣)の手入れなど対象にすべきでないか。75歳以上の女性一人暮らしの多くは自分では手入れができず人手を借りなくてはならない方々が多くいます。農業だけでなく、環境整備の面からも7年度予算で対処すべきでないか。
			1)	農業生産振興助成は30,000円の助成があるが、農業機械使用についてはあるようでないが、70歳以上で農業機械の使用許可または労働安全衛生法にもとづく特別教育修了証(小型車両系建設機械の運転)を取得している方には1日ほどの使用料の免除はできないか。

5. 歯科診療所の改善について

1) 平成6年7月から、歯科診療が始まったと聞いています。

現在は宇検村から歯科医師が週3日、火曜日(午前中)木曜日(午後)土曜日(午前中)また、大和の園等の訪問診療も受け付けているようで、ありがたく思います。

令和5年度実績で年間患者数384名、診療回数述べ830回、本村の歯科診療はなくてはならない診療となっています。高齢者の多くが診療を受けていることと思います。

「診療所の改善」は診療所が2階にあることで、高齢者や足の悪い患者など、2階までの階段の上り下りが大変とのことで、「イス式階段昇降機」設置は出来ないかと多くの声を聞きますが、7年度予算の中で対処できないか。